

高知精神保健

発行所 高知市丸の内1丁目2-20
 高知県子ども・福祉政策部障害保健支援課内
 高知県精神保健福祉協会
 電話：088(823)1111・088(823)9669(直)
 FAX：088(823)9260
 E-mail：kochi-mhwa@mopera.net
 発行人 数井 裕光 編集人 諸隈 陽子

第287号

第63回高知県精神保健福祉大会

『いつかの涙を光にかえて』

～統合失調症の兄との絆：トイピアノによる再生～



実行委員長
 石川記念病院長
 福本 光孝

高知県精神保健福祉協会は、精神保健福祉の正しい知識を普及させて、ノーマライゼーションの実現を目指す目的を担っています。コロナ渦による制限も解除され、こういった会も対策を十分に取ること、従来のように開催できるようになりました。今年で63回目の大会実行委員長を拝命いたしましたので微力ながら

務めさせていただきます。精神保健福祉に携わる者だけでなく、広く県民の皆様にご参加いただければと感じています。そのため難しい医学的内容や複雑な保健福祉制度を扱うことはいったん脇に置いてみることにしました。

今回は音楽コンサートと物語のような講演のハイブリッド形式です。内容は昭和から平成・令和にかけて統合失調症の患者さんとその家族の間に流れた時間と涙、ようやく見えてきた再生の光。その絆の再生のきっかけになったトイピアノによる音楽と物語に耳を傾けてください。そして大会に参加された方それぞれが、何かの“気づき”を心にもって県民文化ホールを後にしてもらえればと思います。

音楽・講演ともに演者は畑奉枝先生（sound office 音旅舎代表・トイピアニスト）にお願いしました。音楽は聴くだけで小学校時代のハーモニカや小さな笛も苦手だった私ですが、畑先生の絵本『いつかの涙を光にかえて』に接し、ピアノ演奏のCDも聴いてみました。私自身の感想や感動はともかく、「心に不調

を抱えた人と支える家族の方たちだけでなく、音楽の可能性を信じる方たちに広くご紹介したいのですが」とお願いして、快く招聘に応じていただきました。

以下は畑先生の音旅舎ホームページからの抜粋です。

【私の兄が思春期に統合失調症を発症して以来、私たち家族はみるみるうちに崩壊していきました。半ば実家を捨てるように飛び出した私の心を支えてくれたのは、ピアノ。そして、小さなおもちゃのピアノ＝トイピアノでした。数年前、トイピアノを兄に見せたことをきっかけに、止まっていた我が家の時間が再び動き出した“あの日”の衝撃は、今でも忘れることが出来ません。『不完全なおもちゃのピアノだから、自分のような不完全な人間も受け入れられる気がする』。そう言いながら愛おしむようにトイピアノを弾き続ける兄の言葉は、それまでの意識と行動を変えてくれました。】

畑さんは、ご本業のトイピアノコンサートはもちろん、各地域にある精神疾患の家族会との連携や、精神保健福祉・児童教育に関する講座やワークショップの開催などに取り組まれています。絵本を題材にした子供向けコンサートである「イツ・アニマル・タイム!! コンサート」は、厚生労働省から推薦児童福祉文化財認定作品に選ばれています。

最後になりましたが、大会の開催に多方面の皆様からご指導とご協力を頂きました。実行委員長として、それぞれの個人・企業・団体関係の皆様、当日のお手伝いを頂く有志の皆様へ感謝を申し上げます。

目次

第63回高知県精神保健福祉大会(案内) 1
 第41回日本森田療法学会 高知大会 2
 海辺の杜ホスピタル アルコール疾患ケアセンターのご紹介... 3

こころの看護は「にっせいかん」..... 4
 第26回高知県障害者スポーツ大会 5
 第63回高知県精神保健福祉大会 6

第41回 日本森田療法学会 高知大会

高知大学医学部神経科学講座 12月7日・8日開催 大会事務局長 森田 啓史

この度、「第41回日本森田療法学会高知大会」を、2024年12月7日(土)・8日(日)の両日、「高知県立県民文化ホール」にて開催させていただくこととなりました。

森田療法は、高知県野市町（現・香南市）出身の精神科医、森田正馬（もりたまさたけ）先生によって1919年頃に創始された我が国の最も伝統的な精神療法の一つです。患者さんが自己の不安も生の欲望も、自然な人間性として受容し「あるがまま」の自己を生かせるよう援助する治療法です。

森田療法は臥褥と作業を骨子とする入院療法を基本形に、強迫症や不安症等を含む神経症を主な対象としてきました。今日では、外来の森田療法も普及し、総合病院や診療所、職場、学校あるいは地域の保健福祉領域の相談事業等、多職種多領域にわたるメンタルヘルス課題の解決に貢献しております。精神障害の疾患概念が変化する中で、治療対象も、神経症に限定せず、うつ病にも適用拡大し効果を挙げている他、種々の心身症、緩和ケアや一般の人々のメンタルヘルスの向上にも森田療法が応用され、薬物療法やデイケア等の他の治療技法との併用もなされております。

森田療法の原法の中には発達障害概念は含まれておりませんが、森田神経質には発達障害特性と共通する特性があることは、よく指摘されております。コロナ禍を経た現代社会において、変わりゆくメンタルヘルス課題への応用も期待されております。

本学会は全世界における森田療法の発展や地域住民の健康の向上に貢献することを目的として年1回開催されております。2024年は、森田正馬先生の生誕150周年にあたり、更なる発展を目指して、森田療法発祥の地である高知県で開催される運びとなりました。

第41回日本森田療法学会
 原点から紡ぐ多様な支援
 精神療法のレジェンドを継承しライフステージを通して
 持続可能な多職種地域連携を共創する

森田正馬 生誕150周年記念 高知大会
 Japanese Society for Morita Therapy

2024年12月7日(土)・8日(日)
 12月6日(金)プレコンgres
 高知県立県民文化ホール(グリーンホール)
 〒780-0870 高知県高知市本町4丁目3-30

大会長 高橋 勇俊
 高知大学医学部附属病院
 児童青年期精神医学

副大会長 上村 直人
 高知大学 保健管理センター

事務局長 森田 啓史
 高知大学医学部神経精神科学講座

副事務局長 大原 伸嗣
 高知大学医学部神経精神科学講座

事前参加登録期間 2024年9月2日(月)正午~11月15日(金)正午まで

森田正馬先生生誕地 高知開催
 森田正馬先生生誕地のエクスカーションにぜひご参加ください。
 (日本森田療法学会が主催する文化財に指定された森田正馬先生の生誕地(2024年3月6日付))

第41回 日本森田療法学会 事務局:高知大学医学部神経精神科学講座 内
 〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 TEL:088-880-2359 FAX:088-880-2360 E-mail:jsmt41kochi-u.ac.jp

第41回 日本森田療法学会 運営事務局:株式会社 歳時記屋 内
 〒780-0272 高知市杉井19-2 TEL:088-882-0333 FAX:088-882-0322 E-mail:office@jsmt41kochi.com

写真提供:森田正馬先生生誕地

高知大会では、「原点から紡ぐ多様な支援 精神療法のレジェンドを継承しライフステージを通して持続可能な多職種地域連携を共創する」をテーマに大会を開催します。事前参加登録期間は2024年9月5日(木)正午~11月15日(金)正午までとなっております(第41回日本森田療法学会ホームページ <https://jsmt41kochi.com/index.html>)。当地での開催を盛り上げるためにも、皆様方のご参加、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

第41回日本森田療法学会

URL : <https://jsmt41kochi.com/index.html>

☎ 088-880-2359/FAX 088-880-2360

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

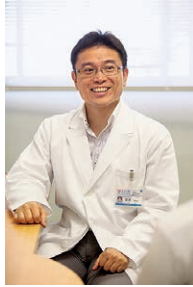
高知大学医学部神経精神科学講座内



海辺の杜ホスピタル アルコール疾患ケアセンターのご紹介

副院長兼アルコール疾患ケアセンター長 笠井 秀夫

当院は昭和4年に設立された高知県では最も歴史のある精神科病院であり、平成16年に現在の海辺の杜ホスピタルに名称変更するまでは法人名である精華園を病院名としていました。ノーマライゼーションの実現を目指し、あらゆる精神疾患の治療に取り組んできましたが、精華園の時代からアルコール依存症についても積極的な治療・支援を行ってきました。平成30年5月には高知で唯一のアルコール依存症専門医療機関に選定され、より専門性の高い医療サービスを提供すべく努力してきました。



アルコール依存症からの回復には長期的なりハビリテーションが不可欠ですが、より効果的な関わりを追求し、治療・支援の見直しを進めていきました。その結果、令和2年8月にアルコール疾患ケアセンターを開設することになりました。

当センターではアルコール依存症という名称をあえて使わず、アルコール使用障害という疾患概念を採用しています。アルコールを使用することにより様々な問題が生じている人をその重症度で判定するというものです。依存状態に陥った重症レベルの方から、そこに至る前の問題のある飲酒状態の方まで、その方のニーズに合わせて、柔軟に対応することが狙いです。モチベーションの低い状態で何とか受診につながった方と、診断をめぐって対立構造に陥ることなく、治療を継続しやすくなるというメリットもあります。

まずは専門医療機関とつながり続けることが最重要と考え、時間をかけて治療同盟を築き、本人の動機づけを高めていくことを基本方針としています。



アルコール問題を抱える方が自分自身の行動を変えていくためには、その人にあったタイミングがとて重要で、そこで当センターでは初診に関

しては通常の外来初診枠とは別に随時受け入れができるよう工夫をしています。何とか受診はできたけれども、断酒の方針を受け入れる段階にない方は、どんなに重症の方でも断酒を押し付けず、本人の求めに応じ、飲酒量低減の目標を立て、一緒に試行錯誤を続けることもあります。受診の決意が固まっていない方には家族に来ていただき、家族のケアをしつつ、適切な対応ができるよう支援し、本人の受診の実現を目指します。



そのタイミングが来た人には断酒を目指して、入院治療を提案します。認知行動療法の原理を用いたグループ療法を核としたリハビリテーションプログラムを実施しますが、プログラムは、3つのステージ（休息期、回復期、退院準備期）で構成されており、ステージアップ方式により、徐々にモチベーションを高められるよう工夫をしています。

このように当センターはアルコール問題を抱える方とその家族が健康で充実した生活を取り戻すため、包括的なケアとサポートを提供しています。単なる医学的介入に留まらず、社会的、心理的な側面を含む様々なアプローチが求められるため、医師、看護師、公認心理師、PSW、作業療法士、管理栄養士、薬剤師等の職種がチームを組み、連携して医療サービスを提供しています。今後も専門医療機関として、これまでの経験と実績を生かしながら、新しい挑戦に取り組み、アルコール使用障害に苦しむすべての人々の支えとなるべく、その歩みを続けていく所存です。



医療法人精華園 海辺の杜ホスピタル

URL : <https://www.umibenomori.jp/>

☎ 088-841-2288/FAX 088-841-2280

〒781-0270 高知市長浜251番地



こころの看護は「にっせいかん」

一般社団法人日本精神科看護協会
高知県支部長 谷 聡子



一般社団法人日本精神科看護協会（日精看=にっせいかん）は、精神科領域で働く看護者の団体です。1946年に発足し、2023年7月末現在、47都道府県に約3万人、高知県支部は約300人の会員がいます。全国の精神科看護の力を高めるとともに、こころの健康に関する知見を広く社会に提供しています。私たちの理念は、こころの健康をとおして、誰もが安心して暮らせる社会をつくることです。

国の政策として「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」が打ち出されており、就労支援事業所やグループホームなどの開設は進んでいますが、精神障害のある人が望む場所でその人らしく自立して生活できることやご家族が親なき後も安心して託せる社会を実現するためには、社会資源の充実や社会保障制度の拡充、そして医療・福祉・保健分野の更なる連携が必要であると考えています。

また、精神科医療の現場からは、非常に残念ながら虐待や不適切な医療の摘発が続いており、この背景には、精神科医療をめぐる歴史的、構造的な課題があると認識しています。日精看では、精神科病院における虐待防止に向けた取り組みの強化に全体で取り組むこととしており、高知県支部では今年7月に、日精看吉川会長を講師に迎え「看護倫理指導者養成研修」を開催しました。受講した方が、学ばれた精神科病院における虐待防止措置、人権尊重、倫理教育等をご自身の施設で伝達し、組織としての推進につないでいただいているものと期待をしています。

日精看支部の活動として、高知精神保健第283号（令和5年7月25日発行）で「こころの健康出前講座」事業をご紹介いただきました。この他、県民の

皆様を対象とした事業として、「こころの日事業」を毎年、行っています。「こころの日」といいますのは、1988年の「精神保健法」の施行日にちなんで、7月1日を「こころの日」と位置づけたものです。精神疾患や精神障害のある人への正しい理解を普及し、こころの健康の大切さを伝えるために「こころの日」の前後に講演やイベントを全国の支部で行っています。当支部では、こども、若者の自殺者数が増加傾向にあることから、中高生の精神保健に着目したシンポジウムを令和5年、6年と開催しています。生きづらさを抱えたこども、若者とそのご家族が孤立することなく支援に繋がることができる社会となることを願っています。

最後に、精神科看護職がよりよいケアを提供するために、看護職ひとり一人が安心していただけること、そして希望や誇りをもって楽しく続けていけること、それを支えるのが日精看であり、日精看の事業です。私たちは、共に学び、高めあう仲間が増えていくよう活動を進めていきます。



一般社団法人 日本精神科看護協会

URL : <https://jpna.jp/>

☎ 03-5796-7033/FAX 03-5796-7034

〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F



第26回 高知県障害者スポーツ大会 ～生かそう・伸ばそう・力と技の祭典～

令和6年5月26日(日)、春野総合運動場にて開催された「高知県障害者スポーツ大会」の総合開会式に取材に向かいました。

今年で26回目を迎えるこの大会は、障害のある方のスポーツを通じた体力の維持増進及び自立と社会参加の促進に寄与するとともに、県民の障害者に対する理解を深めることを目的として毎年開催されています。

今年度は、令和6年5月18日～10月6日の期間中、県内各地の会場にて10競技（陸上・卓球・水泳・ボッチャ・ボウリング・グラウンドゴルフ・アーチェリー・サウンドテーブルテニス・パタンク・フライングディスク）が行なわれる予定で、県内66施設から637名の選手が出場し、10月に佐賀県で行なわれる「特別全国障害者スポーツ大会」の出場資格を巡って競い合う予定です。

今大会では、陸上競技・卓球・ボッチャの3つの競技の取材を行いました。

開会式当日はあいにくの曇り空でしたが、時折爽やかな風が吹く心地よい一日で、選手にとっても競

技に集中しやすい環境だったように思います。

どの会場でも、観客席からは家族、関係者含め多数の観客からの声援や歓声が競技場全体に響き渡り、選手の皆さんの大きな力になってのではないかと思います。また、競技が終わった選手が、チームメイトに向けて声援を送る姿も沢山見受けられ、身体だけでなく心も成長させてくれる素晴らしい大会だな、と改めて実感しました。

選手へのインタビューでは、「優勝することができて良かった。また来年も頑張ります。」「負けて悔しいが、楽しくやる事ができて良かった。」「最後まで走走することができて嬉しかった。」等、明るく前向きなコメントを沢山いただき、こちらも元気になりました。

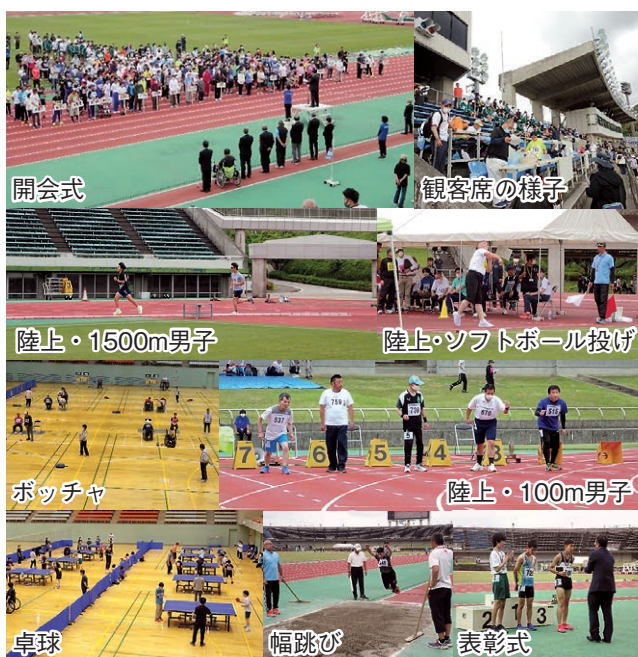
また、運営をされている方にもお話を伺ったところ、「この大会だけでなく、他のイベントも以前と同じように参加したい。」という問い合わせが多いようで、今後は、大会や交流会など、コロナ前に実施していたイベントを、復活させていく予定だそうです。



今大会の競技結果や、今後の大会、交流会の情報等は、今大会の主管である「高知県立障害者スポーツセンター」のホームページに掲載されております。

また、高知県立障害者スポーツセンターでは、障害に応じたスポーツ教室の開催や、気軽に参加できる様々なジャンルの教室や大会の開催、出前教室の実施等をしており、その情報はホームページでも紹介されています。興味のある方は、是非ご覧ください。

(文責:久保浦)



高知県立障害者スポーツセンター

URL: <https://www.kochi-scf.com/>

☎ 088-841-0021/FAX 088-841-0065

✉ sports11@kochi-scf.com

〒781-0313 高知県高知市春野町内ノ谷1-1



第63回高知県精神保健福祉大会

『いつかの涙を光にかえて』

～統合失調症の兄との絆：トイピアノによる再生～

入場無料

定員300名

手話通訳・要約筆記あり

講演タイトル 「トイピアノコンサート」 ～おもちゃのピアノが教えてくれたこと～

“トイピアノ”との出会いは、今から約16年前。たまたま訪れた骨董市でのことでした。その名の通り“おもちゃのピアノ”の音色に、懐かしさや素朴さ、幻想観など、他の楽器にはない魅力を感じ、自身の演奏活動の中心的楽器として向き合い始めました。

それからさらに一年半ほど経ったある日、たまたま実家にトイピアノを持ち帰り、父と兄に見せた時。何も言わずストンとトイピアノの前に座った兄は、いきなり即興で音楽を奏で始めました。何十年も前に統合失調症を発症して以来、心を閉ざし、兄妹らしい会話をした記憶すら無かったというのに……。そこで奏でられた兄の音楽は、純粹さと優しさに満ちていました。

私たち兄妹の絆を取り戻すきっかけとなった、トイピアノ。本日は、4台の個性異なるトイピアノとグランドピアノを組み合わせた音楽をお届けすると共に、精神障害を持つ兄の長年の想いや家族の体験をお伝えいたします。私たち家族の物語が「障害とは」「家族とは」「互いを認め合うことの大切さ」「不完全な存在だからこそ持つ力」などを考えるきっかけになれば、これほど嬉しいことはありません。

講師 トイピアニスト・sound office 音旅舎代表

はた ともえ 焔 奉枝 氏



日時 令和6年10月16日(日) 午後1時～3時50分

場所 高知県立県民文化ホール(グリーン)

プログラム

- PM 1:00 開会あいさつ
高知県精神保健福祉協会会長 数井 裕光
来賓あいさつ
高知県知事 濱田 省司
高知市長 桑名 龍吾
高知県医師会長 野並 誠二
PM 1:20 表彰式
PM 1:30 休 憩
PM 1:45 講演+演奏
演題 「トイピアノコンサート」
～おもちゃのピアノが教えてくれたこと～
講師 トイピアニスト・sound office 音旅舎代表
焔 奉枝
..... 講演+演奏の合間に休憩
PM 3:45 閉会あいさつ
高知県精神保健福祉協会副会長 山崎 正雄

[主催・事務局]

高知県精神保健福祉協会
高知市丸ノ内1-2-20

高知県子ども・福祉政策部障害保健支援課内
TEL:088 (823) 9669

E-mail:kochi-mhwa@mopera.net



当協会HP

選択肢をつくる。
希望をつくる。

田辺三菱製薬

https://www.mt-pharma.co.jp/



なんとかしたい。
だから、挑む。

Sumitomo Pharma